

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
1	茨城キリスト教大学	日立市・茨城キリスト教大学 連絡協議会連携事業 「学生プロジェクト」	学生が主体的に取り組む、地域の課題解決や活性化テーマとした調査・研究活動を支援した。	1 実施期日 令和5年7月から令和6年3月まで 2 内容 (1) まちづくりに関する調査・研究の実施 (2) 成果発表会の実施（令和6年2月24日(土)） (3) 成果報告書の作成 3 各プロジェクト名 (1) シン・ヒタチコウホウ (2) We love 日立 ～若者がずっと住みたいまちづくり～ (3) 子育て支援による女性・若者転出防止策の提案 (4) 障害のある人の生活から考える日立らしい地域資源の発信に関する提案	政策企画課
2	茨城キリスト教大学	学生モニター	市内大学の学生による市政取材・市報記事作成を行うことによって、若い世代にも身近に感じられる市報の紙面づくりを進め、広く市政に関心を持ってもらうきっかけとした。	1 市報掲載号 (1) 3月5日号「マイクロクリエイションオフィスミカケル」 (2) 3月20日号「地域課題の解決にチャレンジ！ デジタル技術の活用でもっと便利に、快適に！」 2 学生モニターの人数 2人	広報戦略課
3	茨城キリスト教大学	経営学部経営学科「経営特講 I」への講師派遣	茨城キリスト教大学経営学部経営学科「経営特講 I」の講師として、市職員4名を派遣した。	1 実施期日 令和5年9月26日(火)から令和6年1月16日(火)まで(全5回) 2 講義内容等 (1) 日立駅前再活性化事業について (2) 投票率向上の取組み～市政の参加は投票から～ (3) 広報戦略(情報発信)について (4) 移住・定住の促進について (5) 学生による成果発表会 3 受講者 約24人	人事課
4	茨城キリスト教大学	日立市職員「グローバル・イングリッシュ研修」と新任職員研修「英会話講座」の実施	「外国人にもやさしい市役所」を目指し、主に外国人と係わる職場の職員を対象として、茨城キリスト教大学との連携による英会話力向上研修「グローバル・イングリッシュ研修」を実施し、2コース(各コース10回)に市職員16名が参加した。全コースにおいて、同大学の日本人教員及び英語母語話者教員2名によるティーム・ティーチングによる指導を受けた。 また、今年度は新任職員研修において「英会話講座」を2回実施し(対象者を半数ずつ、前期・後期に分割)、53名が参加した。	【グローバルイングリッシュ研修】 1 実施期日 (1) おもてなし前期コース 令和5年 5月30日(火)から 8月1日(火)まで (2) おもてなし後期コース 令和5年10月3日(火)から12月12日(火)まで 2 受講者 延べ16人  【英会話講座】 1 実施期日 令和5年6月9日(金)、10月19日(木) 2 受講者 延べ53人	人事課
5	茨城キリスト教大学	まちのコインワークショップ チーム	「まちのコイン」導入に当たり、本市独自のコンセプトやコイン名を決定する市民ワークショップにボランティアサークルの学生1名が参画し、意見を反映した。	1 コンセプトワークショップ (1) 開催日 令和5年11月1日(水) (2) 内容 まちのありたい姿やコイン名についてのブレインストーミング 2 戦略ワークショップ (1) 開催日 令和5年12月11日(月) (2) 内容 特に力を入れてスポット開拓する「重点エリア」の決定等	コミュニティ推進課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
6	茨城キリスト教大学	女性の人材育成事業「1day女性カレッジ」	茨城キリスト教大学講師を招き、コミュニケーションを題材とし、人間関係を上手に築くコツやメカニズムを心理学の観点から学ぶことで、自己理解を深め、社会への参画意欲を高めるきっかけとするための講座を開催した。	1 開催日 令和5年10月20日(金) 2 内容 「また会いたい」と思われる人のコミュニケーション術 3 受講者 17名(託児1名)	女性若者支援課
7	茨城キリスト教大学	資格取得準備講座 TOEIC®L&Rテスト対策講座 めざそう！500点突破！	TOEICテストのスコアアップや目標スコアを達成するため、TOEICテスト形式の問題を通して効率よく学習する方法を学んだ。	1 開催日 令和5年10月25日から11月29日(水)【全6回】 2 内容 TOEIC®L&Rテスト対策講座 めざそう！500点突破！ 3 受講者 延べ36名	女性若者支援課
8	茨城キリスト教大学	日立市巡回支援専門員整備事業	茨城キリスト教大学のカウンセリング子育て支援センターに所属する教員が、市内の保育園等の施設を巡回訪問し、発達が気になる児童への対応について保育士等に対して助言等の支援を行った。	1 巡回に参加した教員 8人 2 訪問した園の数 14園 3 巡回した回数 42回	障害福祉課
9	茨城キリスト教大学	第1回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日時 令和5年6月24日(土) 2 場所 大久保交流センター 3 内容 「はじめての子育て-どう楽しむ？どう乗りきる？-」 4 講師 江尻 桂子氏(茨城キリスト教大学文学部児童教育学科 教授) 5 参加者 保護者10名、子ども6名	子どもセンター
10	茨城キリスト教大学	第2回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日時 令和5年9月27日(水) 2 場所 会瀬青少年の家 3 内容 「園選びはどうすればいいの？」 4 講師 佐藤 美年子氏(茨城キリスト教大学文学部児童教育学科 非常勤講師) 5 参加者 保護者19名、子ども17名	子どもセンター
11	茨城キリスト教大学	地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング支援事業(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	学生による地域中小企業へのインターンシップのマッチング支援を実施した。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 実施件数 1件	商工振興課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
12	茨城キリスト教大学	たがとしょかんこどもまつり	学生サークルTanPoPoの協力を得ることにより、人形劇を上演した。	1 開催日 令和5年11月18日(土) 2 内容 人形劇の実施 3 参加者 9組 31人	多賀図書館
13	茨城キリスト教大学	読み聞かせ講座	茨城キリスト教大学の文学部の教授を講師に迎え「読み聞かせ講座」を開催した。	1 開催日 令和5年12月12日 2 内容 「わらべうたから絵本へ」 3 受講者 21名	南部図書館
14	茨城キリスト教大学	日立市いじめ調査委員会	日立市いじめ調査委員会を開催した。 (委員長:茨城キリスト教大学教授)	1 開催日 令和6年3月27日(水) 2 内容 いじめの定義等について 日立市における児童生徒のいじめの状況について、事例検討	指導課
15	茨城キリスト教大学	日立市いじめ問題対策連絡協議会	日立市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。 (委員:茨城キリスト教大学教授)	1 開催日 令和5年11月2日(木) 2 内容 いじめの定義等について 日立市における児童生徒のいじめの状況について、事例検討 各組織・団体の取組状況について	指導課
16	茨城キリスト教大学	部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会	部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を開催した。 (委員長:茨城キリスト教大学准教授)	1 開催日 令和5年7月5日(水)ほか2回 2 内容 部活動の段階的な地域移行の在り方についての協議	指導課
17	茨城キリスト教大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 採用者 17人 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校2校 (3) 特別支援学校1校	指導課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
18	茨城大学	茨城大学基盤教育開講授業「茨城学」への講師派遣	茨城大学基盤教育開講授業「茨城学」の講師として、市職員1名を派遣した。	1 開催日 令和5年11月8日(水) 2 内容 「若者応援事業～かがやく若者であふれるひたちへ～」 3 受講者 約935人	人事課
19	茨城大学	日立市防災士養成講座	日立市防災士養成講座における履修科目の一つとして、講義「地震・津波による災害」について、信岡教授の講師派遣を依頼した。	1 開催日 令和5年8月26日(土)、27日(日) 2 内容 「地震・津波による災害」 3 参加者 82名(コミュニティ関係者、市職員等)	防災対策課
20	茨城大学	まちのコインサポーター活動	まちのコインの趣旨に賛同した大学生が「まちのコインサポーター」として活動した。	1 参加者数 4名 2 内容 (1) スポット向け・コミュニティ向け操作研修会の運営支援 (2) 店舗やコミュニティへの個別説明、アプリ操作支援 (3) スポットへの運営物品(ポスター、のぼり旗等)の配付 (4) アプリでのスポット登録入力	コミュニティ推進課
21	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストラーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 開催日 令和5年5月27日(土)、28日(日) 2 内容 (1) 写真入りクイズの印刷(約200枚) (2) 文字を用いたメディアアートの実演と印刷・配布 (3) 床プロジェクションによる月の満ち欠け・重力場の体験 (4) LiDARセンサによる人流計測のプロトタイプ (5) 各種ゲーム体験など 3 参加者 延べ300人(2日間) (※)LiDAR:レーザー光を照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術のこと。	文化・国際課 (日立シビックセンター)
22	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部城間研究室による自立ロボットの走行デモ、ロボットを使った地図作成などを実施した。	1 開催日 令和5年8月19日(土) 2 内容 (1) 「自律移動ロボット」の走行デモ (2) 「直感的に操作するロボット」の展示 (3) 「ロボットを使った地図作成」の展示 3 参加者 50人	文化・国際課 (日立シビックセンター)
23	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部矢内研究室による「手の運動能力を測ろう!」を実施した。	1 開催日 令和5年8月26日(土) 2 内容 「手の運動能力を測ろう!」ペンタブレットで速く正確に使えるかの実験体験 3 参加者 70人	文化・国際課 (日立シビックセンター)

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
24	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部道辻研究室による鉄道車両のダイナミクスに関する研究。鉄道が脱線しない車輪の仕組み体験を実施した。	1 開催日 令和5年9月3日(日) 2 内容 鉄道車両のダイナミクスに関する研究の展示 3 参加者 50人	文化・国際課 (日立シビックセンター)
25	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストラーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 開催日 令和5年9月23日(土)、24日(日) 2 内容 (1) 写真入りクイズの印刷(約200枚) (2) 文字を用いたメディアアートの実演と印刷・配布 (3) 床プロジェクションによる月の満ち欠け・重力場の体験 (4) LiDARセンサによる人流計測のプロトタイプ (5) ドームスクリーンによる没入感クイズ (6) 模型や書籍へのプロジェクション 3 参加者 延べ300人(2日間) (※)LiDAR:レーザー光を照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術のこと。	文化・国際課 (日立シビックセンター)
26	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストラーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 開催日 令和5年12月2日(土)、3日(日) 2 内容 (1) 写真入りクイズの印刷(約360枚) (2) 文字を用いたメディアアートの実演と印刷・配布 (3) 大画面の英語早押しクイズ体験 (4) きれいな文字の書き方を学ぶシステム (5) 名画をなぞって体験など 3 参加者 延べ310人(2日間)	文化・国際課 (日立シビックセンター)
27	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストラーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 開催日 令和6年1月6日(土)、7日(日) 2 内容 (1) 写真入りクイズの印刷(約450枚) (2) 非接触操作のクイズキオスク体験と成績の印刷配布 (3) 大画面の英語早押しクイズ体験 (4) きれいな文字の書き方を学ぶシステム (5) 本や城模型へのインタラクティブプロジェクションなど 3 参加者 延べ500人(2日間)	文化・国際課 (日立シビックセンター)
28	茨城大学	女性デジタル人材育成講座	大学准教授とサポート講師の学生2名を招き、プログラミングの基礎知識の習得やプログラミング体験を通じて、今後デジタル分野への就労に向けた学びのきっかけとなる講座を開催した。	1 実施期日 令和5年11月14日、21日、28日 12月5日、12日(全5回) 2 内容 プログラミングを学ぼう 3 受講者 延べ46名(託児2名)	女性若者支援課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
29	茨城大学	日立市におけるリカレント教育体制構築事業	日立市において、リカレント教育実施に係るプラットフォームを構築するためのアドバイスを大学教授から受けた。	1 実施期日 令和5年8月8日、11月30日、2月13日、3月14日(全4回) 2 内容 課題検証、講座企画協力	女性若者支援課
30	茨城大学	日立市におけるリカレント教育体制構築事業	大学推薦の講師を招き、日立市において、リカレント教育実施に係るプラットフォームを構築するためのプレ講座を大学を会場に実施した。	1 開催日 令和6年3月5日(火)、3月7日(木) 2 内容 1日目:キャリアデザイン概論～人生100年時代を私らしく生きるロードマップ～ 2日目:ITリテラシー入門～初心者のためのAIまるわかり体験講座～ 3 受講者 1日目:18名 2日目:19名 4 会場 茨城大学日立キャンパス	女性若者支援課
31	茨城大学	女性の希望をかなえる就学支援講座	女性デジタル人材育成講座について、より専門性の高い講座を提供し、就業に結び付けていくための企画に関するアドバイスを大学准教授から受けた。	1 開催日 令和5年8月9日(水) 2 内容 課題検証、講座企画協力	女性若者支援課
32	茨城大学	日立版リコチャレロールモデル講座	理工系分野に興味を持ち、進路選択する女子学生を増やすため、学生を対象に理工系分野の体験講座を開催し、事業協力として工学部学生6名が参加した。	1 開催日 令和5年8月23日(水) 2 内容 講座運営サポートおよびロールモデルとしての体験談話 3 受講者 8名	女性若者支援課
33	茨城大学	第4回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日 令和6年1月31日(水) 2 場所 保健センター 3 内容 「子どもの発達に大切な『あそび』」 4 講師 神永 直美氏(茨城大学教育学部教授) 5 参加者 保護者21名、子ども19名	子どもセンター
34	茨城大学	常陸多賀駅周辺地区整備事業	常陸多賀駅周辺地区整備事業の周知を図るとともに、駅周辺施設整備を契機とした賑わいの創出と持続可能なまちづくり体制構築のため、演習授業への参画やまちづくりについての意見交換等を行った。	1 開催日 令和5年4月21日(金)から7月21日(金)まで 2 題目 茨城大学工学部都市システム工学科「社会基盤設計演習Ⅰ」 3 内容 学生による常陸多賀駅周辺地区の課題解決策の立案支援及び意見交換の実施	常陸多賀駅周辺地区整備課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
35	茨城大学	産学連携等研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 5件 2 内容 金属積層造形による摩擦攪拌接合ツールの試作開発 等	商工振興課
36	茨城大学	AM事業研究会(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	AM(金属積層造形技術:アディティブマニファクチュアリング)を活用した新事業の展開を図る研究会を立ち上げ、セミナーの開催や活用方法の検討、試作等を行った。	1 内容 金属積層に係る設計や分析・評価等について助言を受ける体制の構築	商工振興課
37	茨城大学	地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング支援事業(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	学生による地域中小企業へのインターンシップのマッチング支援を実施した。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 実施件数 27件	商工振興課
38	茨城大学	動物園におけるサシバエの吸血生態に及ぼす環境及び動物の影響調査	飼育下の動物におけるサシバエによる吸血侵襲は、衛生管理等の観点から大きな問題とされている。前年度の調査において、サシバエの発生集中域がいくつか見られることや北園から南園へと移動していることが明らかとなった。今回の調査では、発生源の特定と制御の観点から、園全体におけるサシバエの吸血実態を調査した。	1 調査対象 動物全般 2 調査方法 (1) 園内全域にサシバエ捕獲用トラップを設置し捕獲 (2) 風速の測定	かみね公園管理事務所
39	茨城大学	動物園におけるサシバエ飛来反応に及ぼす吸血動物の匂いの影響調査	被吸血動物の匂いに着目し、高頻度被吸血動物と低頻度被吸血動物の匂いの違いがサシバエの飛来反応に及ぼす影響を調査した。	1 調査対象 ボニー、シマウマ 2 調査方法 各動物の毛及び糞のサンプリング	かみね公園管理事務所
40	茨城大学	飼育下のカンガルーにおける摂食活動と展示場属性への影響	植生の摂食や利用場所など環境利用状況による展示場植生への影響を調査した。	1 調査対象 カンガルー 2 調査方法 (1) 展示場内の各地点における滞在頻度及び姿勢割合 (2) モート内における植物種数と食痕数 調査結果が新カンガルー舎建替時に植え付ける植物等の参考材料となる	かみね公園管理事務所

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
41	茨城大学	動物の排泄した糞から分離されるウェルシュ菌に関する研究	園内環境(獣舎、園路等)からウェルシュ菌の分離を試み、得られた菌株の遺伝子配列を解析し、昨年飼育動物の糞から分離された菌株と比較した。	1 調査対象 ライオン、トラ、ワシミズク、ノスリ 2 調査内容 土壌等の採取及び菌株の分離	かみね公園管理事務所
42	茨城大学	動物の排泄した糞から分離される乳酸菌に関する研究	排泄した糞から乳酸菌の分離を試み、分離できた場合には分離菌量などを解析した。	1 調査対象 動物全般 2 調査内容 糞のサンプル回収、動物年齢と乳酸菌の分離成績の関係	かみね公園管理事務所
43	茨城大学	ウミウの遺伝的多様性の解析	ウミウの種の多様性に関する情報がないため、DNA解析により遺伝的多様性を調査した。	1 調査対象 ウミウ 2 調査内容 ウミウの各個体から血液を収集し、抽出したDNAを用いた解析	かみね公園管理事務所
44	茨城大学	ウミウの食餌内容の解析	ウミウの糞から食べた魚の種類を特定し、それを経年的に比較することで、海の中での魚の生息状況、ひいては海の中の環境状態を類推し、海の環境保護に役立てたい。ウミウの糞から精製したDNAを利用して調査した。	1 調査対象 ウミウ 2 調査内容 ウミウの糞からDNAを精製し、MiFish法による同時並列的な多種の魚類の検出	かみね公園管理事務所
45	茨城大学	飼育下のキリンにおける繁殖制限隔離法の影響調査	動物園における繁殖管理は、推進と制限の両方を考える必要がある。繁殖制限法としては去勢等永続的制限法と接触制限等による一時的制限法がある。キリンにおける一時的繁殖制限法の影響について行動及び生理反応を調査した。	1 調査対象 アミメキリン 2 調査内容 (1) 隔離条件による展示時間の行動への影響 (2) 隔離条件による夜間行動への影響 (3) 隔離条件によるストレス強度の評価	かみね公園管理事務所
46	茨城大学	Bluetoothデータに基づいた動物園の観覧順路と来園者の経路選択の関係	多くの動物園では、すべての動物を効率よく見て回れるように観覧順路を設定しているが、順路通りに回る来園者ばかりでないのが現状である。動物園の役割を最大限に活かすことはできていないため、来園者の動線データや経路の観測を行うことで、来園者の経路選択に与える要因について調査した。	1 調査対象 来園者 2 調査内容 (1) Bluetoothセンサを用いた来園者の観覧動線調査 (2) 定点カメラを用いた来園者の経路選択行動調査	かみね公園管理事務所



令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
47	茨城大学	図書館資料の相互貸借	市立図書館と大学図書館において、所蔵資料の相互貸借を実施した。	1 大学からの借用 55件 2 大学への貸借 2件	記念図書館
48	茨城大学	久慈町・舟戸山古墳の測量調査(第1・2次)	茨城大学考古学研究室による舟戸山古墳(日立市久慈町4丁目地内)の測量調査を行った。	1 目的 日立市舟戸山古墳の墳丘形状や規模などの把握 2 内容 「考古・文化遺産実習」における発掘調査の実施	郷土博物館
49	茨城大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 採用者 8人 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校2校 (3) 特別支援学校1校	指導課
50	常磐大学	資格取得準備講座 認知症ライフパートナー検定試験～3級をめざして～	認知症についての基本的な知識や症状に対する対応の仕方、コミュニケーションのとり方などを検定試験の内容を通して学んだ。	1 実施期日 令和5年9月30日から11月18日(土)【全5回】 2 内容 認知症ライフパートナー検定試験 ～3級をめざして～ 3 受講者 延べ111名	女性若者支援課
51	常磐大学	男女共同参画セミナー	3月8日の国際女性デーに合わせ、男女を問わず、ひとりひとりが個性や自主性を尊重しあいながら輝ける未来の実現をめざし、今できることを考えるための講演会を開催。	1 開催日 令和6年3月3日(日) 2 内容 未来を自分らしく生きるために ～国際女性デーによせて～ 3 受講者 13名	女性若者支援課
52	常磐大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 採用者 2人 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校2校 (3) 特別支援学校1校	指導課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
53	筑波大学	茨城県・日立市女性のヘルスケア地域医療学寄附研究部門事業	筑波大学において、産婦人科医師が不足している県北の中心都市である本市を基点として、地域医療における女性のヘルスケア全般について対応する産婦人科医療体制のあり方に関する研究を行うことにより、その成果を日立総合病院地域周産期母子医療センターの再開等に資した。	1 実績 日立総合病院に対し、9名の産婦人科医師の派遣(派遣元:筑波大学) 2 実施期日 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	地域医療対策課
54	筑波大学	産学連携等研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 2件 2 主な内容 (1) 金属積層造形による摩擦攪拌接合ツールの試作開発 (2) チタン製デザイングラスの製品化及び製造プロセスの確立 等	商工振興課
55	麻布大学	ニホンアナグマに採食された2科のミズ類の採食量の推定	日本に生息する中型食肉目の中でミズ捕食者の代表種といえるニホンアナグマの飼育個体を用い、ミズの給餌実験によってその排泄物を採取し排泄物中の剛毛からミズ採取量を推定し検証した。	1 研究対象 ニホンアナグマ 2 調査内容 (1) 給餌飼料 フトミズ科のミズ類を通常の餌に混入し給餌 (2) 糞の採集 排泄された糞を給餌開始から5日間程度すべて回収	かみね公園管理事務所
56	茨城高専	産学連携等研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 1件 2 主な内容 チタン製デザイングラスの製品化及び製造プロセスの確立	商工振興課
57	聖心女子大学	人工飼育チンパンジー乳児の群れ復帰プロセス	母親の死亡や育児放棄など、何らかの理由により人工飼育になる場合がある。 本研究では、1匹のチンパンジーが集団に復帰するプロセスについて観察し、どのように他個体に受け入れられるのか、集団メンバーたちと関係性に変化が生じるのかについて調査した。	1 研究対象 チンパンジー 2 調査内容 (1) 馴致期間におけるチヨに対する他個体の行動とチヨによる他個体への働きかけ (2) チヨが集団に加わることにより生じるチンパンジー同士の関係性の変化	かみね公園管理事務所
58	千葉工業大学	産学連携等研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 1件 2 主な内容 長寿命吸引型プラズマガンの開発	商工振興課

令和5年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
59	千葉大学	動物園動物を対象にした酸味選好性の研究	飼育動物にとって適切な餌レパートリーの摂取は、適正な行動展示や環境エンリッチメントのいために非常に重要である。 動物の味覚の中でも酸味はその役割や進化史がほとんどわかっていない。味覚選好性を解明することはヒトを含む動物の味覚の進化を解明するほか、管理や飼育にも貢献する可能性があり、エンリッチメントの向上にもつながることから、調査を行った。	1 研究対象 動物全般 2 調査内容 (1) 餌レパートリーのデータベース化 (2) 餌レパートリーの糖度。酸度測定と採餌場所のカテゴリー化 (3) 酸味選好性と採餌場所の関係性の検証	かみね公園管理事務所
60	帝京科学大学	カバの他個体の鳴き声を利用した音声エンリッチメント	本来、カバは群れで飼育することが推奨されているが、現在はほとんどの動物園で単独飼育であり、精神的な健康や福祉の観点から望ましくない状況である。 カバの音声によるエンリッチメントを行い、刺激を与え、行動の多様性について効果検証を行った。	1 調査対象 カバ 2 調査方法 (1) 単独飼育のカバに他個体の音声を聞かせる残後での行動の変化調査 (2) 聞かせる音声による反応調査 音声による刺激から、行動レパートリーの増加が見られた。	かみね公園管理事務所
61	東京工業大学	産学連携等研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 1件 2 主な内容 半導体増感型熱利用発電(STC)量産システムの開発	商工振興課
62	日本大学	地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング支援事業(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	学生による地域中小企業へのインターンシップのマッチング支援を実施した。	1 実施期日 令和5年4月から令和6年3月まで 2 実施件数 1件	商工振興課